

令和3年度第1回小金井市玉川上水・小金井桜整備活用推進委員会 視察結果

実施日	令和3年4月9日（金）
時間	午前9：00から12：00まで
内容	小金井橋から開始し、梶野橋上流の市境で終了した。 整備実施区間・・・「サクラの生育状況」・「林床の再生状況」・「伐採樹木の管理状況」・「被圧樹木の有無」「上水遺構の保存状況」 未整備区間・・・「現状把握」・「サクラの植樹位置」
参加者	委員会（亀山委員、椎名委員、伊東委員） 小金井市（生涯学習課、道路管理課、環境政策課） 東京都教育庁（地域教育支援部管理課） 東京都水道局（経理部管理課、境浄水場）
オブザーバー	小平市（スポーツ文化課）、武蔵野市（生涯学習課） 市民団体
委員会 所見	<p>【小金井橋～新小金井橋間】（平成29～令和元年度整備済み）</p> <p><u>サクラの生育状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・全体的に良好に生長している。 ・植樹後のため生長が弱い。⇒入念な水やりが必要。 ・若木のヒコバエ処理は適宜行うこと。 ・KS3は枯死の可能性あり。 <p><u>伐採樹木の管理状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・陣屋橋下流は再度雑木の繁茂が進む。2～3年経過すれば、萌芽更新で大きく成長してしまう。早急に措置を要する。 ・上水法面の崩落が進んでいる。史跡保護上、雑木伐採が必要である。 ・ササ類多い。⇒要処理 ・ニセアカシアの防除は徹底すること。 <p><u>その他</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・雑木伐採の効果で、多くの既存木で樹形回復の兆しがみえてきた。 ・雑木の再繁茂で眺望がよくない。⇒適切な処理必要 <p>【新小金井橋～関野橋間】（平成22～24年度整備済み）</p> <p><u>サクラの生育状況</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・サクラによる緑陰が順調に形成されてきている。 ・生育の阻害となるので支柱等は撤去して構わない。

伐採樹木の管理状況

- ・高木（樹木）伐採は適切に行われている。
- ・サクラを被圧しない程度の低木類を残す配慮がされている。
- ・五日市街道側（緑地部）の外來植物や雑木⇒要伐採

その他

- ・雑木伐採の効果で、多くの既存木で樹形回復の兆しがみえてきた。
- ・ニリンソウ群落を確認。ササ類の抑制方法の検討を要する。
- ・新小金井橋～平右衛門橋の既存木の欠損が進んでいる。⇒補植措置を検討。

【関野橋～梶野橋間】（平成26～28年度整備済み）

サクラの生育状況

- ・サクラによる緑陰が順調に形成されてきている。

伐採樹木の管理状況

- ・高木（樹木）伐採は適切に行われている。

その他

- ・親水性が向上した。
- ・雑木除去後、在来の野草が比較的よく育つ。
- ・ニリンソウの群落確認。ササ類の抑制のために草刈り必要。

【梶野橋～武蔵野市境】（未整備区間）

文化財の現況確認

- ・放置された雑木（ケヤキ、クルミ）が目立つ。
- ・上水法面から生えている雑木が目立つ。
⇒名勝（サクラ並木）としての景観が大きく損なわれている。
⇒被圧によって既存のサクラの生育は危機的な状況にある。

今後の方向性「史跡・名勝の保護を最優先に考える」

- ・新たなヤマザクラ並木の形成。⇒苗木の植樹
- ・苗木の植樹は柵の内側が望ましく、十分な場所がある。
- ・苗木の植樹は、両岸の同時整備がより効果的である。
- ・交通障害や民地被害を防ぐため、別途、高木伐採を進める。
- ・生育環境では既存木の生長は望めない状態である。樹形回復を促すために、新たに日照が充分当たる条件を整備する。⇒雑木の伐採
- ・苗木や既存木の生長の妨げになるため、対岸の雑木も伐採する。